

関東東山病害虫研究会 第58回 研究発表会・総会プログラム

日時:2011年2月25日(金)10:00~16:30

場所:埼玉県 さいたま市文化センター

小ホール(虫害会場 総会会場) 一般講演12分(1鈴8分、2鈴10分、3鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:00	1	シヨクガタマバエ野外個体群のミトコンドリアDNA多型について ○日本典秀1・安部順一朗2・山根雅史3・矢野栄二3(1農業生物資源研究所、2近畿中国四国農業研究センター、3近畿大学農学部)	大林隆司 (東京都農林総合研究センター)
10:12	2	冬切りバラ栽培におけるナミハダニとヒラズハナアザミウマへの各種カブリダニ製剤の防除効果 ○二村友彬・大矢武志(神奈川県農業技術センター)	
10:24	3	赤ネット被覆によるアザミウマ防除 ○大矢武志・仲田雅雄・植草秀敏・小林正伸・太田和宏・阿部弘文1・月足和弘1(神奈川県農業技術センター、1日本ワイドクロス)	
10:36	4	キュウリ黄化えそ病発生地帯から採集したミナミキイロアザミウマに対する各種粒剤の防除効果 ○鈴木誠・木村厚信・大矢武志(神奈川県農業技術センター)	
10:48	5	施設キュウリでの低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒による下層土のネコブセンチュウに対する防除効果 ○桑原克也・高橋まさみ・大堀智也・三木静恵(群馬県農業技術センター)	水久保隆之 (中央農業総合研究センター)
11:00	6	エダマメのダイズシストセンチュウに対して低濃度エタノール消毒は効くか? ○大林 隆司・小谷野 伸二(東京都農林総合研究センター)	
11:12	7	ダイコンのネグサレセンチュウ害に対するエタノールを用いた土壌還元消毒の効果 ○植草秀敏・高田敦之・佐藤恵利華*1・豊田剛己*2・折原紀子・岡本昌広・北 宜裕(神奈川県農業技術センター、*1近中四農研センター、*2農工大)	
11:24	8	モンシロチョウ幼虫に対するシヘンチュウの寄生について 小長谷達郎、○吉田睦浩1(筑波大学、1中央農業総合研究センター)	吉沢栄治 (長野県野菜花き試験場)
11:36	9	千葉県のナシ園におけるリンゴコカクモンハマキの発消長と交信攪乱剤の効果試験 ○高橋真秀・矢内雅楽子・渡辺 学・河名利幸1(千葉県千葉農林振興センター・1千葉県農林総合研究センター)	
11:48	10	寄主のフェロモンを誘引源としたトラップの設置条件が天敵卵寄生蜂カメモシタマゴトビコバチの誘引数に与える影響 ○水谷信夫・樋口聡志1・行徳 裕1・山口卓宏2・西本浩之3・落合幾美3・安田哲也・田淵 研4・守屋成一・佐々木力也5(中央農研、1熊本農研セ、2鹿児島農開総セ、3愛知農総試、4東北農研、5富士フレイバー(株))	
12:00	昼食休憩		
13:00	総会		
13:30	特別講演 花き栽培における農薬低減に向けた病害防除技術 植松清次 氏 (千葉県農林総合研究センター)		市川和規 (山梨県総合理工学研究機構)
14:20	休憩		
14:30	11	昆虫病原糸状菌製剤を利用した害虫防除における湿度管理の影響 ○遠山宏和・務川重之(茨城県農業総合センター生物工学研究所)	吉沢栄治 (長野県野菜花き試験場)
14:42	12	ナシ園における殺虫剤散布が天敵類の発生に及ぼす影響 ○鹿島哲郎・小西博郷・草野尚雄・高木素紀・後藤万紀(茨城県農業総合センター園芸研究所)	
14:54	13	ボーベリア・バシアーナ製剤と気門封鎖剤の混用によるタバココナジラミへの効果向上 ○高橋匠・山中聡1・糸山享(明治大学農学部、1アリストライフサイエンス)	長坂幸吉 (中央農業総合研究センター)
15:06	14	明治大学生田キャンパスにおけるツバキおよびサツキの害虫相 ○鶴戸ロえりな・糸山享(明治大学農学部)	
15:18	15	神奈川県におけるチャのクワシロカイガラムシの発消長 岡本昌広・○土師基・黒澤晃・石原淑恵・木村仁美・真木路子・鯉沼咲衣(神奈川県農業技術センター)	
15:30	16	チャのクワシロカイガラムシ被害許容水準 ○小俣良介(埼玉県農林総合研究センター茶業研究所)	桑澤久仁厚 (長野県農政部農業技術課)
15:42	17	栃木県水稲におけるヒメビウンカの箱施用剤別発生状況 高橋聖恵(栃木県農業環境指導センター)	
15:54	18	LEDトラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの発生予察 ○野口忠久・武田和男(長野県農業試験場)	
16:06	19	二毛作および一毛作水田におけるアシナガモ発生量の比較 ○森本信生 西城 洋(中央農業総合研究センター)	

関東東山病害虫研究会 第58回 研究発表会・総会プログラム

日時:2011年2月25日(金)10:00~16:30

場所:埼玉県 さいたま市文化センター

多目的ホール(病害会場) 一般講演15分(1鈴10分、2鈴12分、3鈴15分)

時間	番号	講演題目	座長	
10:00	1	トウモロコシ萎凋細菌病菌用の選択培地 ○田平剛 畔上耕児(中央農業総合研究センター)	酒井和彦 (埼玉県農林総合研究センター)	
10:15	2	ジャガイモそうか病の耕種の防除 ○青木一美・渡邊 健(茨城県農業総合センター農業研究所)		
10:30	3	トマト青枯病に対する低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒の防除効果 ○金田真人・小河原孝司・鹿島哲郎(茨城県農業総合センター園芸研究所)		
10:45	4	酵母抽出液の処理条件の違いによるトマト青枯病発病抑制効果とその機構 ○中保一浩・石原岳明・野津あゆみ1・鍛冶原寛2・前田征之3・花田薫(中央農研、1道総研花野技セ、2山口県農林総セ、3新潟県農総研)		
11:00	5	六条大麦における赤かび病の防除時期とかび毒蓄積 ○酒井和彦・野田 聡(埼玉県農林総合研究センター)	酒井宏 (群馬県農政部 技術支援課普及指導室)	
11:15	6	オオムギ黒節病の発生および防除方法の検討 ○山城 都・和氣 貴光・森島 正二・福田 充(栃木県農業試験場)		
11:30	7	長野県におけるレース3によるレタス根腐病の発生 ○小木曾秀紀・藤永真史・山岸菜穂(長野県野菜花き試験場)		
11:45	8	水耕サラダナにおける養液中のレタス根腐病菌のモニタリング ○鈴木幹彦 伏見典晃(静岡県農林技術研究所)		
12:00	昼食休憩			
13:00	総会			
13:30		特別講演 花き栽培における農薬低減に向けた病害防除技術 植松清次 氏 (千葉県農林総合研究センター)	市川和規 (山梨県総合理工学研究機構)	
14:20	休憩			
14:30	9	発病程度の異なる土壌でのエンバク野生種の栽培すきこみによるキャベツパーティシリウム萎凋病の発病抑制効果 ○池田健太郎1,2、漆原寿彦4、坂野真平2,3、桑原克也1、加部武4、三木静恵1、酒井宏5、柴田聡1、藤村真2,3(1群馬県農業技術センター、2東洋大学植物機能研究センター、3東洋大学生命科学部、4吾妻農業事務所、5群馬県庁)	舟久保太一 (山梨県総合農業技術センター)	
14:45	10	ベニバナインゲンに発生するビシウム病害の総合防除 ○渡邊 健・青木一美・町田暢久1・増村弘明1・神庭和哉2(茨城県農業総合センター農業研究所・1片倉チッカリン(株)筑波総合研究所・2大塚化学(株))		
15:00	11	イチゴ疫病潜在感染検定技術確立のためのイチゴ疫病病菌(<i>Phytophthora nicotianae</i>)高頻度感染部位の解明 ○鐘ヶ江良彦、田中千華1、鈴木健2、吉田菜々子2(千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所、1千葉県農林総合研究センター病害虫防除課、2千葉県農林総合研究センター)		
15:15	12	棚栽培用ドリフト低減型防除機のナン病害虫に対する防除効果 ○小河原孝司・草野尚雄・金田真人・鹿島哲郎・太田智彦1(茨城県農業総合センター園芸研究所・1生物系特定産業技術研究支援センター)	植草秀敏 (神奈川県農業技術センター)	
15:30	13	促成キュウリの温度管理による褐斑病等の病害抑制効果 ○大木浩・大泉利勝・川城英夫・牛尾進吾(千葉県農林総合研究センター)		
15:45	14	埼玉県のキュウリ産地におけるコナジラミ類の発生状況とウイルス病防除対策 ○宇賀博之・菅原章夫1(埼玉県農林総合研究センター、1大里農林振興センター)		
16:00	15	長野県のズッキーニから検出されるウイルス種とその特徴 ○藤永真史・東山みや子・梁宝成・小坂能尚(長野県野菜花き試験場北信支場・京都府農林水産技術センター生物資源研究センター・(株)京都微研)		